

「でんさい」利用企業の事例紹介



株式会社サンニチ印刷

2018年10月19日

目次

1. 企業概要
2. 事業紹介
3. でんさい導入のきっかけ、経緯
4. でんさい導入までのスケジュール
5. でんさい導入による効果
6. 課題と対応
7. 「でんさい」検討中の企業さまへ
8. 最後に

1.企業概要

- 商号 株式会社サンニチ印刷
- 本社住所 山梨県甲府市北口2丁目6-10
- 事業内容 ①印刷、製本・加工及び関連する企画、編集、デザイン、翻訳等
②屋内・外の広告と装飾及び関連する事業
③土木・建築工事に関する請負、設計、施工並びに監理
- 売上高 49億5,866万円(平成29年度)
- 代表者 代表取締役 河西光雄
- 従業員数 204名
- 事業所等 本社・国母工場
東京支社
富士吉田営業所



(本社・国母工場外観)

1.企業概要（山日YBSグループ）

あなたの、いちばんメディア。



山梨日日新聞社 山梨放送 アドブレン社
サンニチ印刷 YBS T&L
山梨ニューメディアセンター タウン企画
山梨文化学園 日本ネットワークサービス
デジタルデビジョン ファーストビジョン
ウインテックコミュニケーションズ
新聞センター 山日リース 山梨文化会館

2.事業紹介(1)

商業印刷

雑誌や書籍などの出版印刷やカタログ、パンフレット、チラシ、ポスターなど幅広い印刷を手掛けています。さまざまなご提案と確実な進行管理を行い、お客様の発信する情報が最大限の効果を生み出すようサポートします。



クリエイティブ

平面的なデザインからウェブデザイン、AR、モーショングラフィックなどグラフィックデザインは多岐にわたります。効果的な情報伝達手法とは何かを考え、「伝える力」を発揮できるデザインを生み出しています。



デジタルコンテンツ

企画からデザイン、印刷、製本と一貫した製品づくりで培ってきた豊富な経験とノウハウを活かし、書籍の電子化、電子書籍販売・配信システムやAR、VRの開発などさまざまなデジタルコンテンツのアウトプットを用意し、お客様のニーズに対応しています。



サイン&グラフィックス

店の看板に屋外広告、道路標識に案内標識など、私たちの生活はさまざまなサインに囲まれています。「サインとは何か？」を常に考え、お客様にとって本当に“価値あるサイン”をご提案します。



2. 事業紹介 (2)

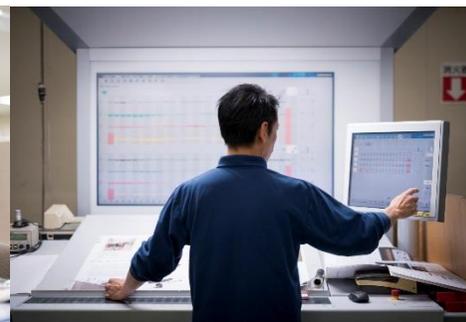
FSC木材・県産材木材

FSCロゴマークが付いた製品は、適切に管理された森林から生まれた「環境配慮型商品」であることが保証されています。山梨県のFSC認証林と、県産FSC認証木材を活用した木材製品の企画、製作販売をしています。



コンサルティング

行政計画や各種調査策定のコンサルティング業務を行っています。各市町村の規模や人員の実情に応じた最適な調査方法、策定プロセスを提案し、住民にわかりやすい計画づくりなどをご提案します。



3. でんさい導入のきっかけ、経緯

- ・でんさいサービス開始当初(平成25年)に利用申し込み
- ・同年からでんさいの受取利用開始

手形作成業務の負荷感、作業効率化の可能性を探っていた

- ・手形発行枚数は月間90~100枚
- ・銀行印の押印、手形郵送業務等の負荷



欠員状況での業務負荷増加

フィンテック(金融のデジタル化)

支払作業の
効率化

現物管理
リスク回避

金融機関
からの提案

時代の流れ
合理化・IT化

4. でんさい導入までのスケジュール

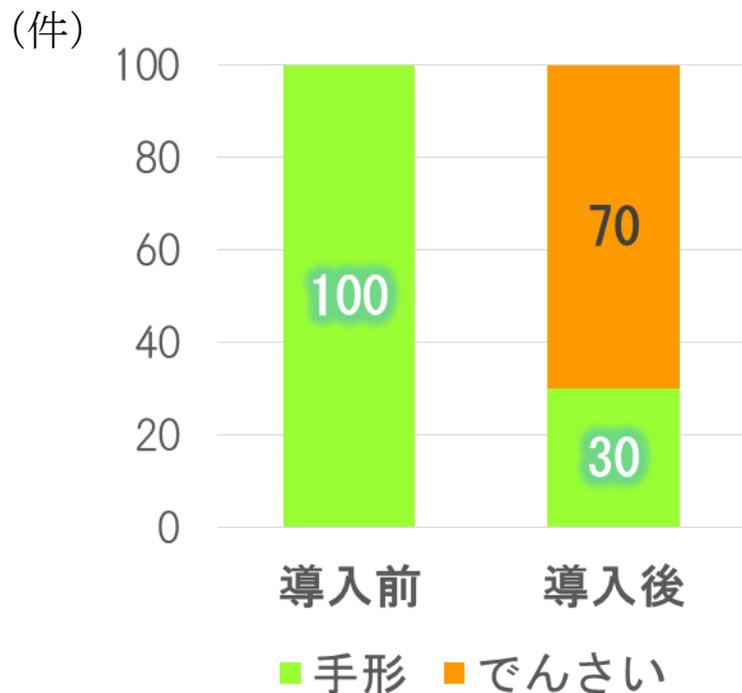
時期	内容
平成28年	金融機関から「でんさい」支払の提案
〃	社内で検討開始(費用・工数等試算、業務フロー確認、他)
平成29年3月	でんさい支払導入の決定
平成29年5月	でんさいアンケート開始 (回答結果) 取引先様 177先発送 うち切替可 109先(62%)
平成29年7月	システム改修・プログラム開発完了、でんさい支払の利用開始

準備中を含めて
7割超から応諾!

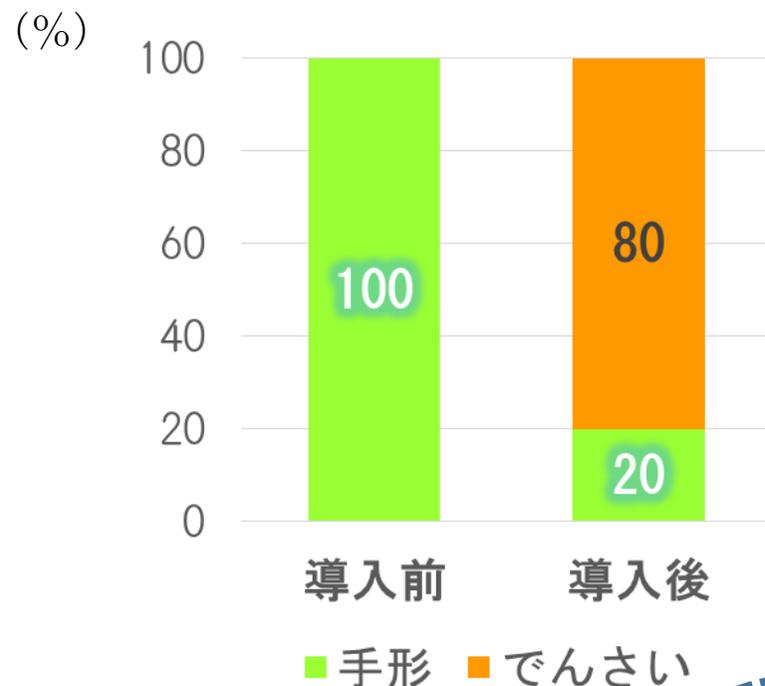
- ・支払利用開始前にでんさいの利用者登録変更手続き(債権者利用限定特約→債務者利用)を行った
- ・支払利用開始にあたってはメインバンク(山梨中央銀行)のサポートに大いに助けられた。

5. でんさい導入による効果

支払件数割合



支払金額割合



- ・でんさい導入により手形枚数は7割減(月:約100枚⇒約30枚)
- ・手形業務の月間事務時間 約1.5日→半日(でんさい事務時間含む)
- ・印紙代削減は月間数万円であり、でんさい発生記録手数料とほぼ同額

効率UP

6.課題と対応

でんさい切替応諾先数

アンケート実施前に大口取引先には担当者を通じて事前調査と協力を打診

会計システム改修

「電子記録債権」科目追加のみ
※費用の発生なし

でんさいプログラム

開発費用80万円
※別システムでの「振込ファイル」抽出機能
※[でんさい]及び[振込]の2機能プログラムを開発

でんさい業務
(操作方法等)

メインバンクによるレクチャーでフォローしていただいた

7.「でんさい」検討中の企業さまへ

メリット

- ペーパーレス。現物管理リスク軽減。
紛失・汚損・盗難リスクなし。
- 領収書返送、集金業務が無くなる。
- 手形取立の手間が省ける。支払期日に自動的に入金される。
- 取立手数料、領収書の印紙代、郵送費等のコスト削減。

デメリット

- インターネットの環境やインターネットバンキングの契約が必要
(常に最新バージョン)。
- でんさい契約が必要。
- 入金手数料や譲渡記録手数料がかかる(金融機関により、手数料は異なる)。

8.最後に

●金融機関への希望

- でんさい未利用者、未登録者は多いと思われる。
利用者増大への取り組みをお願いしたい。

●でんさい導入ご検討中の方へ

- 手形発行との二重業務が煩雑に思えますが、発行手形の減少がそのまま業務効率化となります。
- でんさい切替を推奨します。

「でんさい」は便利な機能です。
受取は簡単な手続きです。ご利用をお勧めします。